

春、新しい生活を始める人へ

春は進学や就職などで転居する人が多い時期です。引っ越しをする時は、まず引っ越し先にどんな災害危険があるかを確認しましょう。

また、住居だけでなく、多くの時間を過ごす職場や学校についても、災害危険がないか確認しておきましょう。たくさんの方が平穏に暮らしている町でも災害危険が潜んでいます。

新しく生活するところの危険を知る

災害から身を守るために、引越し先の自治体が公表している土砂災害・洪水・地震・津波・高潮・火山災害などのハザードマップをもとに、新しく住むところの災害危険の有無を確認しましょう。



ハザードマップは引越し先の市役所・町村役場の窓口やホームページで確認できます。あわせて、それぞれの災害に対応した避難所の位置を確認し、実際に避難所に行ってみることで、避難所の場所や避難する経路の危険についても理解しておきましょう。市町村によっては、地震・津波・洪水など、災害によって避難所が異なることもあります。

危険情報を受ける

危険が迫ったことを知らせる防災無線は、戸別受信機を使わず、屋外のスピーカーのみで放送する自治体が多くありますが、屋内では聞き取りにくい場合があります。このような場合、防災ラジオを使って緊急放送を聞くことができます。転入時に窓口で確認してください。災害時に、自治体からの危険を知らせる情報が確実に得られるよう、防災無線や防災アプリなど、情報を受ける手段も確認しておきましょう。



食料の備えを

周囲に畑などが多く、自然の水も豊かな日南町と異なり、都市部の食料は物流に依存しているため、災害で物流が途絶えると、たちまち食料や飲料水が不足する恐れがあります。食料の供給が途絶えても、3日間程度は買ひ物をしなくても生活できるよう、日頃から非常用の食料や飲料水を確保しておきましょう。

非常用の食料は特別なものを準備する必要はありません。日常食べている缶詰やレトルト食品、乾麺など、常温で保管できて消費期限や賞味期限の長いものを多めに買って置き、食べた分を買い足すことを続ける「ローリングストック」を心がけましょう。



新居の調理器具にも注意

新しい生活の中で、コンロなどの調理器具が使い慣れたものでなくなった時も注意しましょう。安全性が高いといわれるIHクッキングヒーターでも火災が発生しています。特に、使い方が理解できていない引っ越し当日に火災が起こることがあります。調理器具の取扱説明書をよく読んで正しい使い方を理解してから使いましょう。

安心のために

離れて暮らす家族と安否の確認ができるよう、災害用伝言ダイヤル（171）の使用方法も確認しておきましょう。



新しく住むところの危険を理解して、新しい生活を安全に始めましょう。

【問合せ】役場総務課

82-1111

雷彦三(三上成彦さん)イラスト展

日南町出身の三上成彦さんは、昭和40年に高校を卒業し故郷を離れてからも、貴重な幼き日の思い出を残すためイラストを描きためてきました。本展は、子供の頃の遊び、学校生活、家族の暮らしを描いたイラスト作品と、ことわざや名言を書き添えた鬼絵を展示します。

■開催期間 4月26日(金)から5月12日(日)まで ■入館料 無料
同時開催 備前焼 高橋正志作陶展 - 備前焼油滴天目茶碗 - 船通山鏡鉄鉾と印賀砂鉄

日南町美術館

江澤園生 ちりめん細工展

日南町在住の江澤園生さんは一冊の本をきっかけに、ほぼ独学でちりめん細工を始めました。本展では端午の節句やお正月、雛飾りといった歳時物から、小さな細工物を糸で繋げた吊るし飾り、創作人形、押し絵などの作品を展示します。

としよかんの おはなし会

■日時 4月21日(日)10時から ■場所 図書館 こどものへや
読み聞かせや紙芝居を、ボランティアと職員が行います。申込は不要ですので、お気軽にお越しください。園児のみなさんは、参加シール「おやこDE としよかん」を持ってきてね。

日南町図書館

